

子どもたちの学力向上のために

～キャリア形成に関するアンケート調査と高知県学力定着状況調査から～

キャリア教育の充実

- ・ 将来の夢や目標について具体的に考え、学習していることが将来につながるような意識付けを教科の学習や特別活動等で行う。

学習意欲を高める授業づくり

- ・ 周囲から認め、誉める関わりで自尊感情を高める。
- ・ 知識・技能を活用する学習活動やそれらを踏まえた探究活動を取り入れる。

家庭・地域との連携

- ・ 家庭と協力して、基本的な生活習慣を定着させるように指導を継続する。
- ・ 地域の良さを実感させ、地域で育ったことを誇りに思えるような取組を地域と連携して行う。

学習意欲を高める 授業づくりのヒント

■ 学習内容の充実 …内容で学ぶ楽しさを実感させる

- ・ 知識を使って挑戦できるような学習課題を設定し、知識欲を刺激する。
- ・ 学習課題を生活や仕事に結びつけ、将来の可能性へとつなげる。
- ・ 地域の題材を取り入れたり、地域の達人をゲストティーチャーとして招いたりすることで、地域と子どもたち、そして教員もつながるようにする。

■ 学習活動の工夫 …他者と関わり、思考を深める場面をつくる

- ・ 答えの意味や解き方を考えさせたり、テストの間違いを振り返ったりする学習活動
- ・ 友だちとともに学び、高め合う学習活動

キャリア形成に関するアンケートについて

目的

- ① 児童生徒のキャリア形成と基本的な生活習慣、自尊感情、教科の学習意欲及び郷土愛等の関係について総合的に分析する。
- ② 分析結果を教育委員会の施策や各学校の教育活動の検証・改善に生かす。

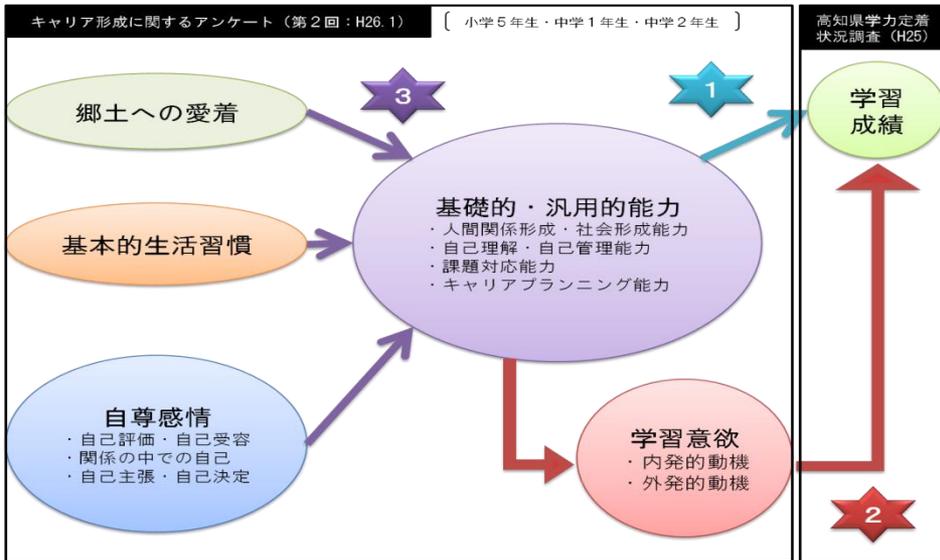
調査内容(質問紙調査)

- 基礎的・汎用的能力
- 郷土愛
- 基本的な生活習慣
- 自尊感情
- 学習意欲
- 学習方法(第3回のみ)

実施状況等

- | | | | |
|-------|----------------------------------|--------|---------------------------------------|
| ① 実施校 | 高知県キャリア教育推進地域(香美市・須崎市・宿毛市)の全小中学校 | | |
| ② 実施日 | 第1回(6月調査) 平成25年6月10日～6月21日 | ③ 調査人数 | 第1回(6月調査) 小学校930名・中学校1,339名 合計2,269名 |
| | 第2回(1月調査) 平成26年1月20日～1月31日 | | 第2回(1月調査) 小学校963名・中学校1,427名 合計2,390名 |
| | 第3回(11月調査) 平成26年11月17日～11月28日 | | 第3回(11月調査) 小学校975名・中学校1,433名 合計2,408名 |

【キャリア形成と学力の分析モデル】



キャリア形成に関するアンケート 質問内容

【郷土への愛着】

項目01 私は自分の住んでいる地域が好きである

【基礎的・汎用的能力】

<人間関係形成・社会形成能力>

項目02 地域の活動(季節の行事や地域のそじなど)に参加している

項目03 人の役に立つ人間になりたいと思う

項目04 学校の授業で学んだことは、将来、仕事や生活で役に立つと思う

項目05 近所の人に会ったときは、あいさつをしている

<自己理解・自己管理能力>

項目06 場に応じて、いい言葉をつかうことができる

項目07 規則、ルール、約束を守っている

項目08 自分には、よいところがあると思う

<課題対応能力>

項目09 失敗をしても、もう一度、挑戦している

項目10 失敗をした際には、なぜ失敗をしたのか、ふりかえるようにしている

項目11 わからないことや知りたいことがあるとき、進んで調べたり、だれかに質問したりしている

項目12 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している

項目13 身近な人や、さまざまな分野で活躍している人の姿から学ぼうとしている

項目14 わからないことや知りたいことがあるとき、どのように調べるとよいか理解している

項目15 自分なりに勉強の仕方を工夫している

<キャリアプランニング能力>

項目16 将来の夢や目標を持っている

項目17 中学生(高校生)になって、積極的に取り組んでみたいことがある

項目18 自分はどんなことが得意であるか知っている

【基本的生活習慣】

項目19 当番や係など自分の仕事をしっかりとやっている

項目20 みんなが集まる場所では、ほかの人のことを考えて行動している

項目21 机やロッカーの中などの回りの整理整頓をしている

項目22 学校に持っていくものを、前日に確かめている

項目23 朝、決めた時刻に自分で起きている

【自尊感情】

<自己評価・自己受容>

項目24 私は自分のことが好きである

項目25 私は自分という存在を大切に思っている

項目26 自分には、よいところがある

項目27 私は今の自分に満足している

<関係の中での自己>

項目28 自分のことを見守ってくれている周りの人々に感謝している

項目29 私は人のために力を尽くしたい

<自己主張・自己決定>

項目30 人と違っても自分が正しいと思うことは主張できる

項目31 私は自分の判断や行動を信じていることができる

【教科の学習意欲】

<国語の学習に対する内発的動機>

項目32 新しい知識を身に付けたいから国語の勉強をしている

項目33 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

項目34 国語の問題は最後まであきらめずに考えている

<算数(数学)の学習に対する内発的動機>

項目35 新しい知識を身に付けたいから算数(数学)の勉強をしている

項目36 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

項目37 算数(数学)の問題は最後まであきらめずに考えている

<学習に対する外発的動機>

項目38 親や先生に認めてもらいたいから勉強をしている

1

学習成績と基礎的・汎用的能力の直接的な関係

- ・ 課題対応能力を意識した指導は学習成績の向上につながる。
- ・ 「将来の夢や目標をもっている(キャリアプランニング能力)」は直接的には学習成績の向上につながっていない。

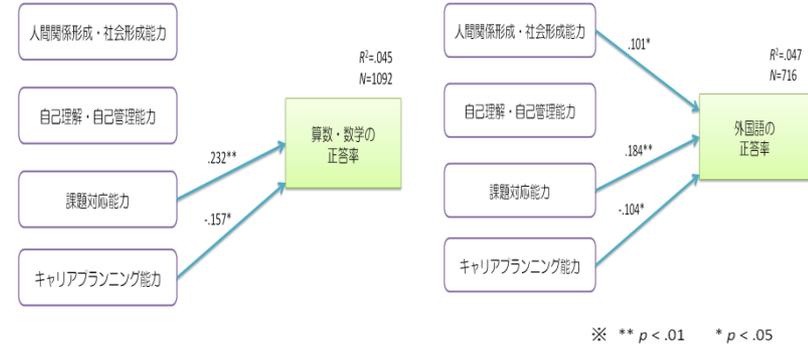
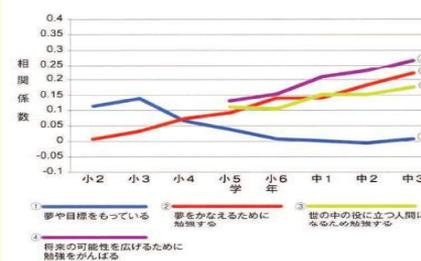


図1 算数・数学正答率又は外国語正答率を目的変数、基礎的・汎用的能力を予測変数とした重回帰分析結果

先行研究から

図4 将来の目標と学習成績の関係



「夢や目標をもっている」と学習成績は相関がありません。

一方、「夢をかなえるために勉強する」、「将来の可能性を広げるために勉強をがんばる」は学習成績と相関があります。

出典：仙台市教育委員会 (H22) 「学習意欲の科学的に関するプロジェクト」

- ★ 子どもたちに、学習を通して将来の可能性を考えさせよう!
- ★ 夢や目標をもっている子どもたちには、実現のためのステップを一步踏ませよう!

2 学習意欲を媒介した学習成績と基礎的・汎用的能力の関係

学習成績と学習意欲の関係

- ・ 学習に対する内発的動機が高いと、学習成績も高い傾向がある。特に、算数・数学はその傾向が強い。
- ・ 学習に対する外発的動機は学習成績の向上にはつながっていない。
- ・ 学年が上がるにつれ、内発的動機、外発的動機とも学習成績との相関が見られるようになる。

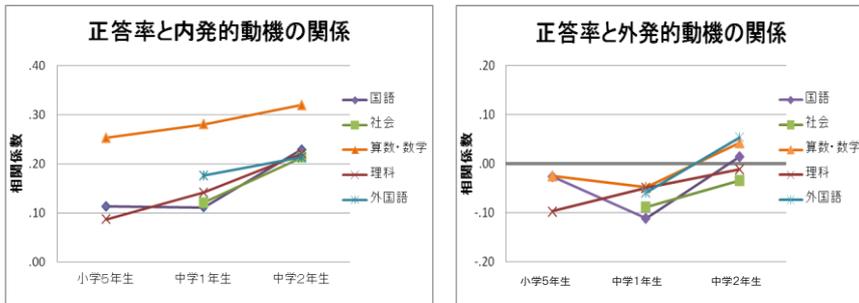


図2 教科の正答率と学習意欲の相関分析結果

学習意欲と基礎的・汎用的能力の関係

- ・ 人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力は学習に対する内発的動機、外発的動機ともに高めることにつながっている。
- ・ 課題対応能力は、学習に対する内発的動機を高めることにつながっている。

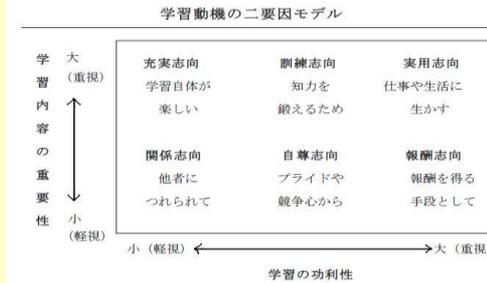


※ **p<.01 *p<.05

図3 学習意欲を目的変数、基礎的・汎用的能力を予測変数とした重回帰分析結果

- ・ 基礎的・汎用的能力は学習に対する内発的動機だけでなく外発的動機を高めることにも影響している。
- ・ 学習成績の向上につながっているのは学習に対する内発的動機である。
- ・ 中学生は、学習に対する外発的動機も学習成績につながる可能性がある。

先行研究から



学習の内容そのものを重視しているかどうか、学習による直接的な報酬をどの程度期待しているか、で学習動機は6分類されています。

出典：市川伸一（H13）『学ぶ意欲の心理学』

- ・ ほとんどの子どもは学習の内容そのものを重視して学習しており、特に、学習内容が将来役に立つから学習する実用志向の子どもが多い。
- ・ 代表的な外発的動機である報酬志向(小遣いやご褒美のために勉強する)の子どもたちは少ない。
- ・ 友だちや親、先生との関わりによる学習動機である関係志向、自尊志向の子どもたちも半数程度存在する。

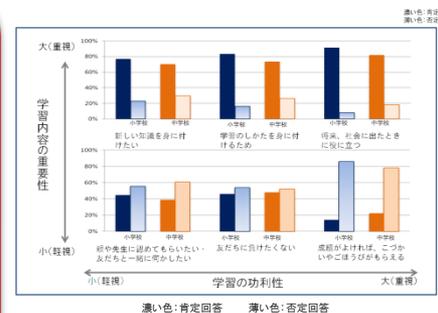


図4 学習動機の一要素モデルにあわせた子どもの実態

★ 子どもが自分から学びたいと思えるように、少し難しい課題や将来とつなげた題材を選ぼう！
★ 子どもの学ぶ楽しさ、気持ちを大切にしよう！

3 基礎的・汎用的能力と郷土への愛着、基本的生活習慣、自尊感情の関係

- ・ 基本的生活習慣を身に付け、自尊感情を高めることが土台となって、基礎的・汎用的能力の4能力が高められている。
- ・ 郷土への愛着を強めることが、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力を高めることにつながっている。

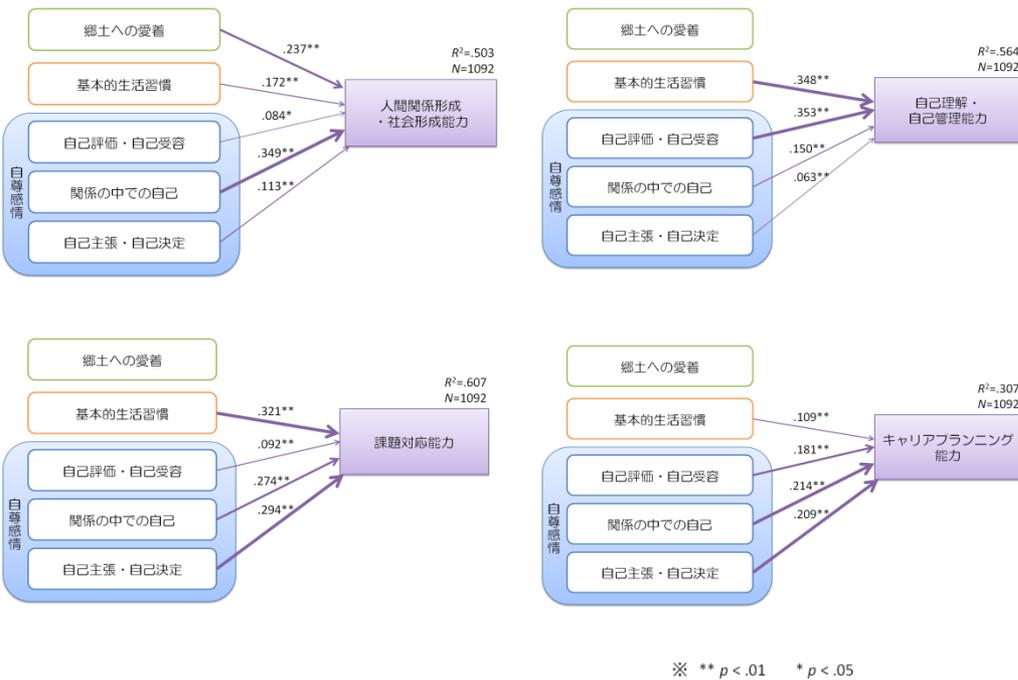
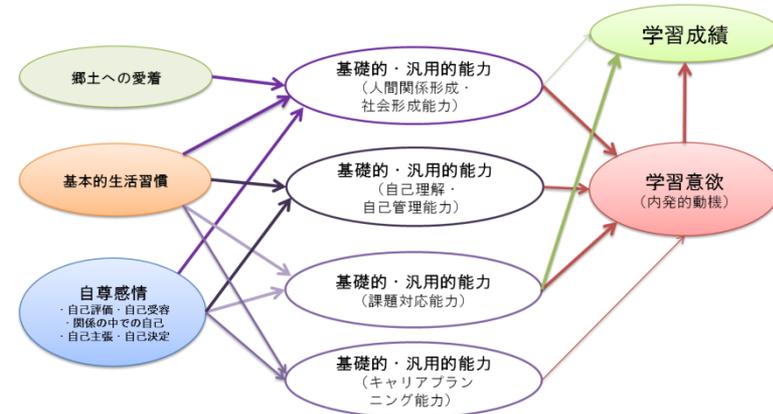


図5 基礎的・汎用的能力を目的変数、郷土への愛着、基本的生活習慣、自尊感情を予測変数とした重回帰分析結果

分析から見た学力につながる道筋



補足分析: 学習意欲と学習方法の関係 (第3回キャリア形成に関するアンケートから)



図6 学習方法に関する子どもの実態

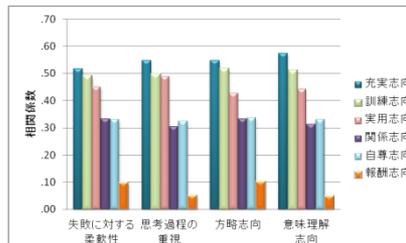


図7 学習方法と学習動機の相関分析結果

- ★ 社会とつながり、良好な人間関係を築くためにも、地域の良さを題材にしよう！
- ★ 状況に合わせて自己管理ができるように、基本的生活習慣を指導しよう！
- ★ 周囲からの肯定的な声かけで、子どもに自信をもたせよう！

- ・ 学習方法を工夫しようとする子どもは多い。
- ・ 小学校は、勉強の仕方をいろいろ工夫する方略志向や暗記ではなく意味を理解して覚えようとする意味理解志向の子どもの割合が中学校に比べると多い。
- ・ 学習内容をもっと理解したい、より向上したいと思う子どもほど、学習方法を工夫して理解しようとしている。